

(活動報告書様式)

団体名	NPO 法人山形県リサイクルポート情報センター		
事業名	酒田港でのリサイクル物流の活性化 (酒田港の新たな飛躍に向けたリサイクル物流の取組み)		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の 所在市町村	酒田市	事業費	978,235 円
		うち助成金額	950,000 円



### <事業目的>

当NPO法人は、設立当初より国土交通省、山形県および酒田市などの行政とともに、酒田港の経済活動活性化とリサイクルポート機能を十二分に発揚する事を目的とし、本事業では、山形県民および多数の企業の皆様方から広く当NPO法人とリサイクルポート酒田港を活用することで、酒田港の更なる積極的活用により、山形県内全体の経済活性化を目的とした。

### <事業内容>

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により酒田港国際資源循環フォーラムおよび山形県主催の酒田港ポートセミナーの中止、酒田港見学ツアーガイドサービス事業も大幅な活動の制約を受けた。

1. 山形県内外への酒田港利用PR(物流拡大)  
庄内銀行ふるさと創造基金

と連携して、酒田港見学ツアーガイドサービス事業を展開し、地区コミュニティセンター、商工会議所および学校関係にPR活動を実施するとともに見学対応を行った。

2. 山形県内における新たな循環資源のリサイクル物流情報の調査、実情把握(情報収集)

国土交通省提案による「リサイクルポート施策の高度化」に向けた取組みに関連して、行政当局とともに「鉄スクラップのモーダルシフト」の実現に向けた検討会を発足した。

3. 山形県内外におけるリサイクル品の営業支援(販路拡大)

行政および民間の工事全般について、再生砕石および石炭火力発電所からのクリンカ灰の使用に関して営業活動を実施し、リサイクル品の利用拡大を図った。

### <事業効果>

山形県内(酒田市)のリサイクル企業が新たに技術開発した再生砕石は、今後、期待が大きく伸びる領域があると考えられる。また、クリンカ灰の有効利用は、庄内地区での天然資材(山砂)の不足により今後も需要が伸びることが予想される。

### <今後の展望>

循環資源の再利用と港湾関係業務に特化した当NPO法人が、事業者同士の連携や新たな枠組みを構築させることにより、今後、ビジネス分野が大きく広がっていく可能性があると思われ期待される。山形県内の経済活性化に酒田港利用PR強化とリサイクル品の営業支援は、企業誘致に伴う雇用の増大および若年層の県内定着化等、今後、必要不可欠であると思う。